

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	2月	18日	(記入者) 神野一美	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	西野
	東辻				
取材対象先	大淀町：妙楽寺 の木造薬師如来坐像・木造地藏菩薩立像・木造十一面観音立像				

所在地	吉野郡大淀町馬佐249				
所有者（取材対応者）名	馬佐区(馬佐区長 ***氏・大淀町学芸員 松田度氏)(個人情報守秘)		連絡先 ***		
			PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：大淀町教育委員会、馬佐区（区長）				
市町村指定文化財	彫刻	3 軀	木造薬師如来坐像=2019(平成31)年3月27日指定、木造地藏菩薩立像・木造十一面観音立像=2021(令和3)年8月31日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	薬師如来は町内最古、地藏菩薩と観音像はヤマザクラの木で制作されていることが判明				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	消火器・火災報知器・消火栓なし 妙楽寺本堂前にあるのは径が細いため消火には不向き。現在、町に消火栓の設置を要望している。	消火栓が寺から300mほど離れた場所にあり、それを使用するのかどうかは不明だが、もう少し近距離であれば安心できる。早急に消火栓の設置を期待する。
獣害対策	被害の有無、対策など 薬師堂の扉は2重にしており、日中は外扉は開いている。閉まっている内扉の上半分は棧にガラスがはめ込んであるため、扉からの鳥獣の侵入を防止している。	特になし
管理者の全体的要望・提案など	災害対策については手がつけられておらず、火災に対することだけでも推進していかねば、とお話をお伺いした区長さんは言われた。	

取材を終えて感じた文化財保護状況の全体的今後の課題（修復、維持、管理、環境など）

大淀町北部の田口地区にあった幻の大寺院・安佐寺から移された仏像がこの3軀である。妙楽寺の一角に馬佐薬師堂は建っている。馬佐区・妙楽寺・町教育委員会と連携・協力をしながら「地域の遺産を次代に伝える」という取り組みを行っており、地元の方々の意思の強さを感じる。修復の実現と共に、防火の対策も進めていっていただきたい。

市町村指定文化財取材票<<裏>>①

取材日	2023年	2月	18日	(記入者) 神野一美	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	西野
	東辻				
取材対象先	大淀町：妙楽寺 の木造薬師如来坐像・木造地藏菩薩立像・木造十一面観音立像				

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 木造薬師如来坐像

本尊の薬師如来坐像



妙楽寺

薬師如来の右手 (かすがいで補修)



3 仏像が収められている馬佐薬師堂



教育委員会製作の説明板と地元作成の仏像写真



記入者の感想

薬師如来坐像はヒノキの寄木造り。定朝様式で平安時代の作。室町時代に補修を受け金箔を貼ったそうだが、顔や胸は光り輝いており、正面から見ると非常にきれいに感じられる。しかし、最近になって薬師如来の右手が落ち、かすがいで応急処置をしている。このように一見きれいに見えていても細部は補修が必要であり、全体の修復をどのように行うかを検討中と、大淀町学芸員の松田氏から説明を受けた。

市町村指定文化財取材票 <<裏>>②

取材日	2023年	2月	18日	(記入者) 神野一美	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	西野
	東辻				
取材対象先	大淀町：妙楽寺 の木造薬師如来坐像・木造地藏菩薩立像・木造十一面観音立像				

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 木造地藏菩薩立像・木造十一面観音立像

地藏菩薩立像



地藏菩薩の錫杖を握る右手と宝珠を乗せる左手



十一面観音立像



十一面観音の頭部と落下した菩薩



文化財の由緒・説明板の有無など

先に町指定文化財になった薬師如来と同様、幻の大寺・安佐寺から移された仏像であるが、製作年代はこの2軀の仏像のほうが古い。両仏像ともヤマザクラの一木造りで、平安時代の作。町教育委員会の説明板と共に、堂外には地元の方が作った3仏像の写真もあり、薬師堂内部の様子がよくわかる。安佐寺から大八車で運んでいた時に、この薬師堂の前で動かなくなったため、ここでお祀りしたという説もある。

記入者の感想

十一面観音の頭頂部にあるはずの菩薩で頭頂部に残るのは4面、それ以外は落下している。落下した菩薩は保管されているため、そのほかの補修と合わせて十一面観音の姿への復元を検討中。また、地藏菩薩も光背は落下したまま。傷みの激しい箇所などの修復方法も検討中とのことであるが、3仏像とも一日も早く修復が完了して、待ち望んでおられる地区の方々の前に往時の姿を見せていただきたい。